

施工される前に

- この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- 便器の使用水压範囲は、最低必要水压：0.07MPa（流動圧）から最高使用水压：0.75MPa（静水压）です。給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
温水洗浄便座は機種により、最低必要水压が異なる場合がありますので、使用条件をご確認ください。
- 排水経路が適切であること（詰まりの有無・配管設計・通気設計、配管老朽化での配管損失なし）を事前に確認ください。
排水管の詰まりや通気が不足している場合、排水能力低下、騒音、封水切れ、他器具への影響などが生じるおそれがあります。
排水管接続の際は管を屈折させたり曲がりも多く使用することや小曲がり継ぎ手の使用は洗浄に影響を及ぼすため避けてください。
- 便器の洗浄水量は、自治体により行政上の立場から設置条件が決められている場合があります。その場合は所轄官庁の指示に従って設置してください。

施工された後に

- 不具合確認のため、必ず試運転を行ってください。
- 本施工説明書と取扱説明書は、お客様にお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください

- ここでは施工に際して守って頂かないと、人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

表示と意味

- ⚠ **警告** …… 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
- ⚠ **注意** …… 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
- 🚫 …… してはいけない禁止の内容です。
- ❗ …… 必ず実行していただく強制の内容です。

⚠ 警 告

- 🚫 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしない。
※故障や感電、火災を起こす恐れがあります。

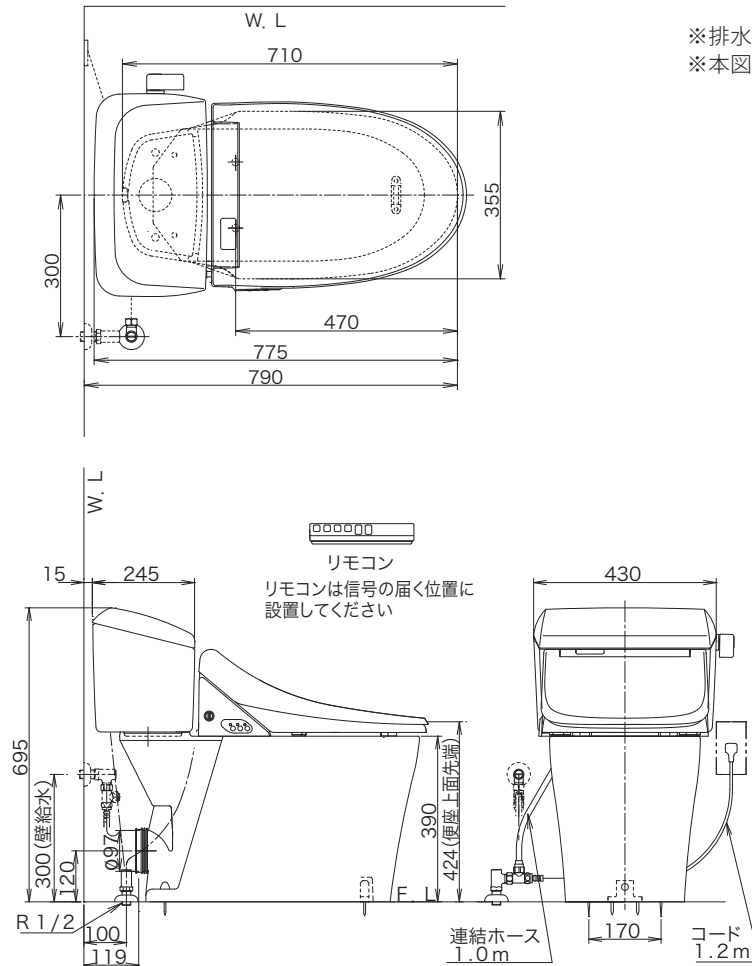
⚠ 注 意

- 🚫 バスルーム等の水のかかる所や湿気の多い場所では、使用しないでください。
※故障や感電を起こす恐れがあります。
- 🚫 交流100V以外では使用しない。
※故障や感電を起こす恐れがあります。
- 🚫 電源コードが破損するようなことをしない。
※コードが破損し、火災や感電を起こす恐れがあります。
- 🚫 便器に強い力や衝撃を与えない。
※ケガや漏水を起こす恐れがあります。
- ❗ 止水栓の調整と施工後の漏水点検を、必ず行う。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- ❗ お客様にお渡しする前までに、凍結が予想される場合は、水抜きをする。
※破損による漏水で、家財等を濡らす恐れがあります。

お 願 い

- 清掃を行う際には、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

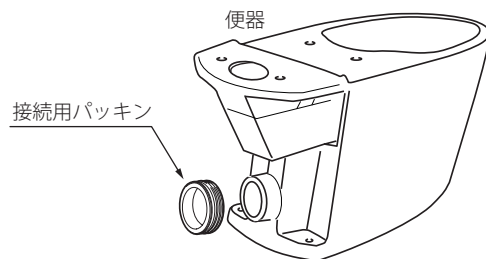
施工寸法図



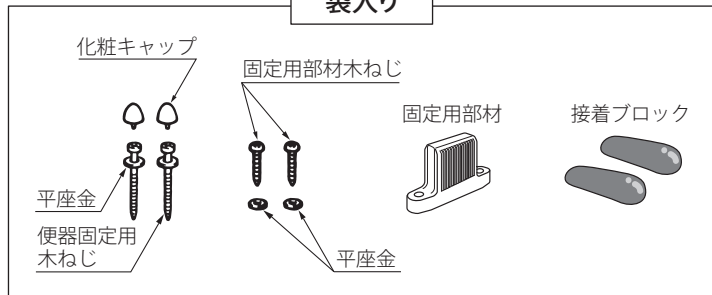
※排水管は逆勾配にならないよう施工してください。
※本図は品番UNC8081AGBを示す

部品の確認 (梱包内容を確認してください)

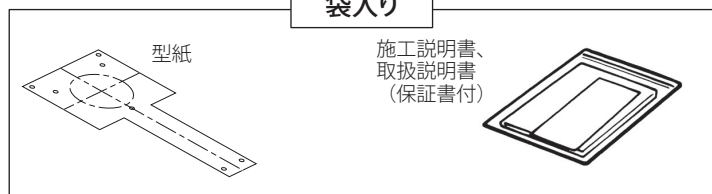
便器セットに同梱



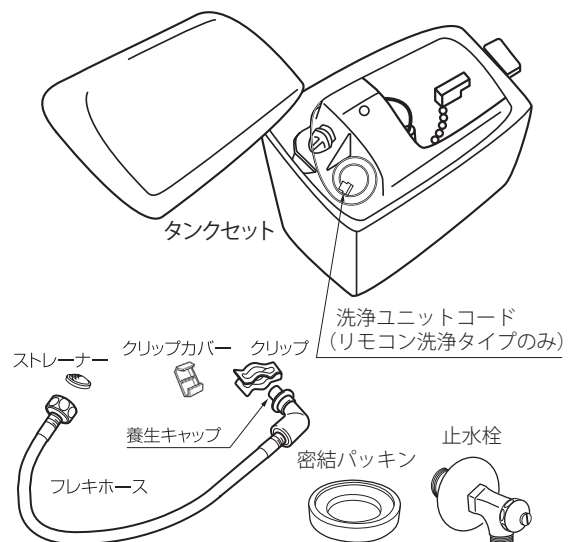
袋入り



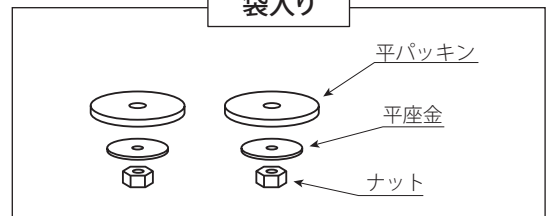
袋入り



タンクセットに同梱



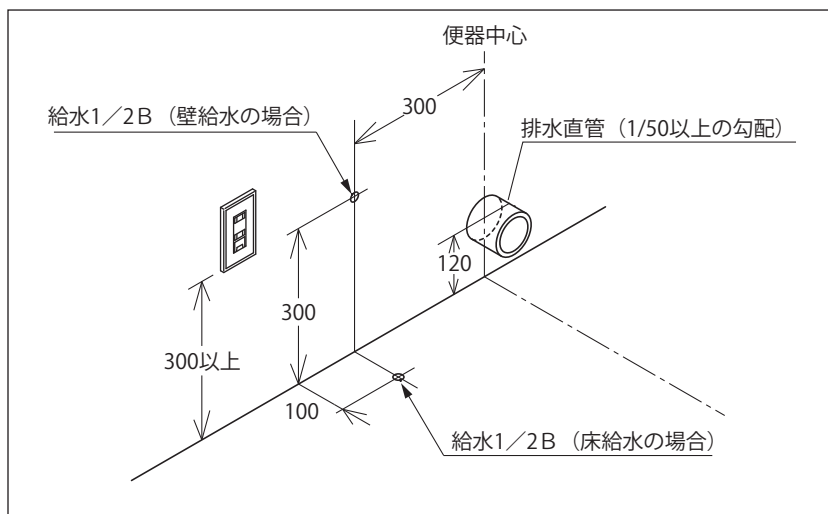
袋入り



施工手順

1 給排水の位置決めと取出し

●下図に従って給水管、排水管を取出します。



お願い

●便器を取付けるまで、異物が入らないよう、給水管にはプラグを、排水管には、ビニール袋等でカバーをしてください。

注意

排水直管は逆勾配にならないようにしてください。
※洗浄性能の低下や逆流の原因となります。

2 便器の仮据

- (1) ベンド管を便器に仮接続して便器の位置決めをします。この時接続用パッキンは取付けないでください。
- (2) 便器固定用木ねじの下穴をあけます。
●床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。
- (3) 下穴をあけたら、便器とベンド管をいったんはずしてください。

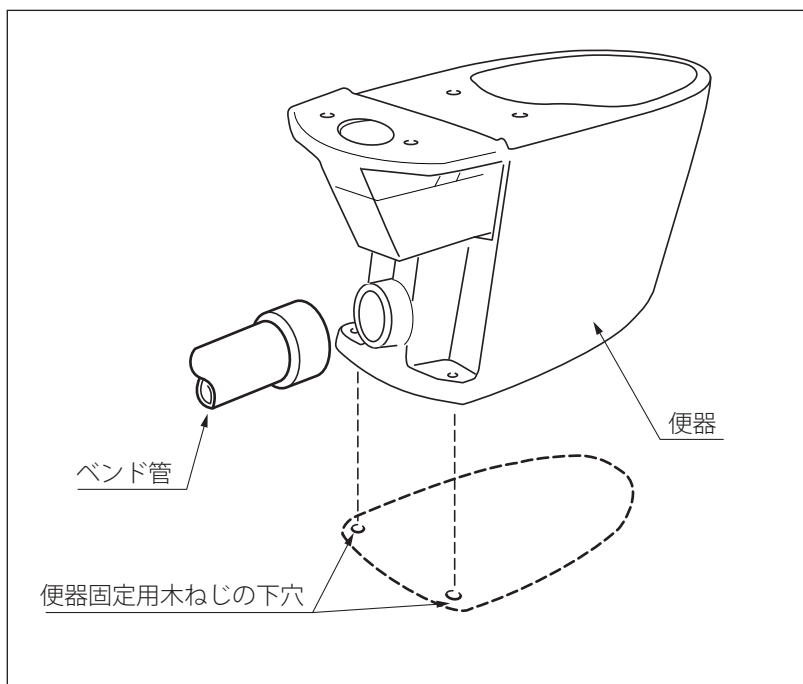
【ワンポイント】

ねじの下穴をφ4～4.5のキリであけておくと

③での作業がしやすくなります。

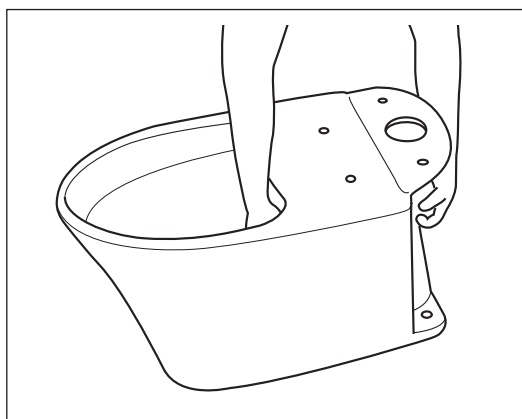
注意

ベンド管は別途用意してください。



便器の持ち方

- 便器は陶器製で約30kgです。
- 右図のように持ってください。
(滑り止めのついた手袋を着用してください。)



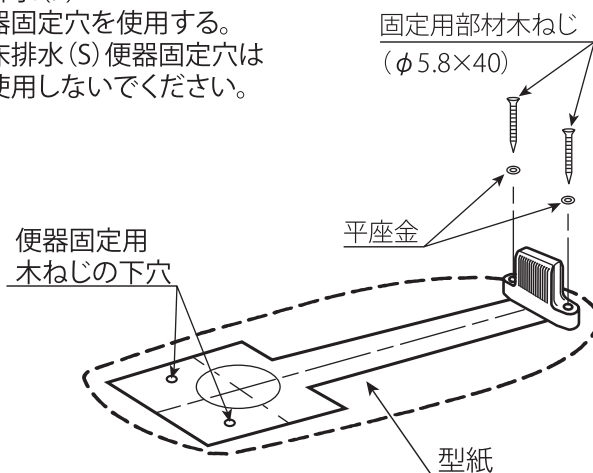
3 固定用部材の取付け

- (1) 便器固定用木ねじの下穴に型紙を合わせ、図のように固定用部材の位置決めをします。(2 - (2) 参照)
ねじの下穴をあけておくと固定の作業がしやすくなります。
- (2) 固定用部材を木ねじで固定します。
●床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。

注 意

- 便器の固定穴の合わせ位置が排水のタイプによって異なります。
間違いのないことをご確認ください。
床の補修が必要になります。
- 位置決め後、型紙を必ず取除いてください。

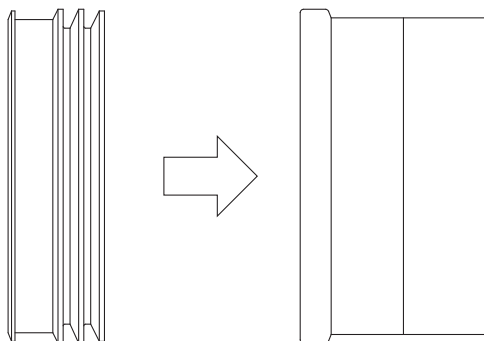
壁排水(P)
便器固定穴を使用する。
※床排水(S) 便器固定穴は
使用しないでください。



4 接続用パッキンの取付け・ベンド管の接続

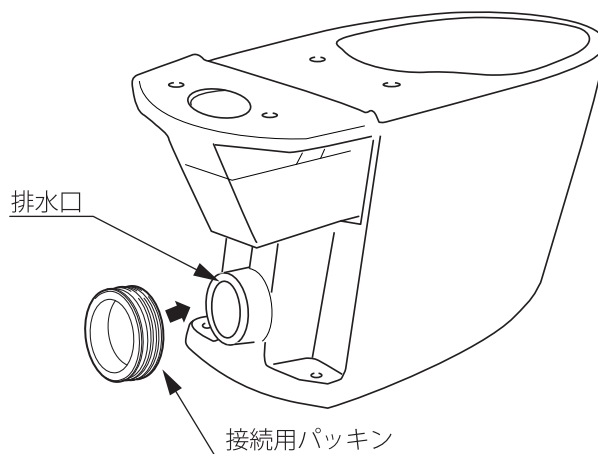
- (1) 便器の排水口に接続用パッキンを取付けます。
- (2) ベンド管を便器に接続します。
※接続用パッキンの表面とベンド管の内面に石けん水を塗ると接続が容易です。

接続用パッキンの取付方向は下図の通りです。



注 意

- 接続用パッキンの向きを間違えると漏水・洗浄不良の原因となります。

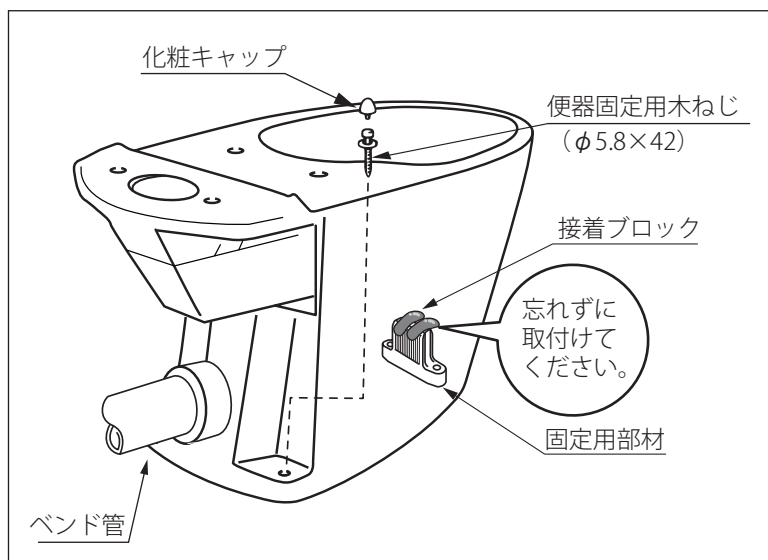


5 便器の取付け

- (1) 固定用部材の上に接着ブロックを2つ並べて乗せます。
- (2) 便器固定用木ねじをガイドにしながら、便器の排水口をベンド管に差し込みます。
- (3) 平座金を介し、ナットで便器を固定します。このとき、便器固定用木ねじが、中心になるようにしてください。
- (4) 固定後、化粧キャップを取付けます。

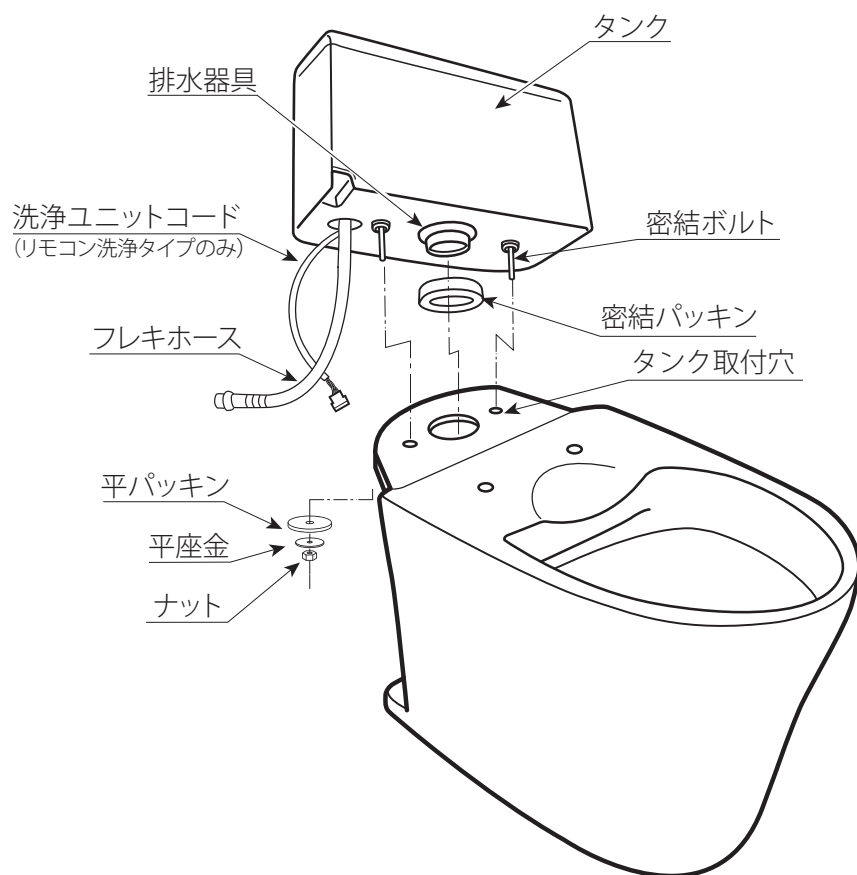
注意

陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

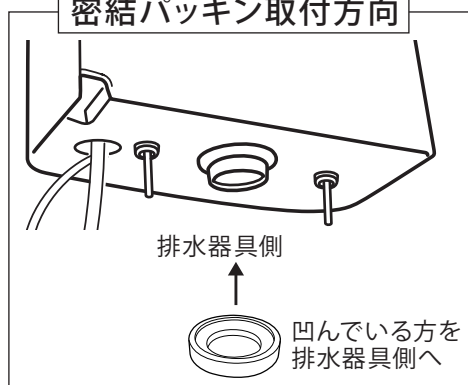


6 ロータンクの取付け

- (1) 密結パッキンを排水器具にはめます。
- (2) 密結ボルトを便器の取付け穴に差し込みます。このとき、密結パッキンがずれたり、はずれたりしないように行ってください。
- (3) 便器下方から平パッキン平座金を介してナットで締付けます。



密結パッキン取付方向



お願い

- ナットの締付けは左右交互に行い、タンクの底面が便器に当るまで締めてください。
※片締めは破損や漏水の原因になります。
- ナットの締付けの際にフレキホースや洗淨ユニットコードをはさまないように気をつけてください。
※動作不具合の原因となります。

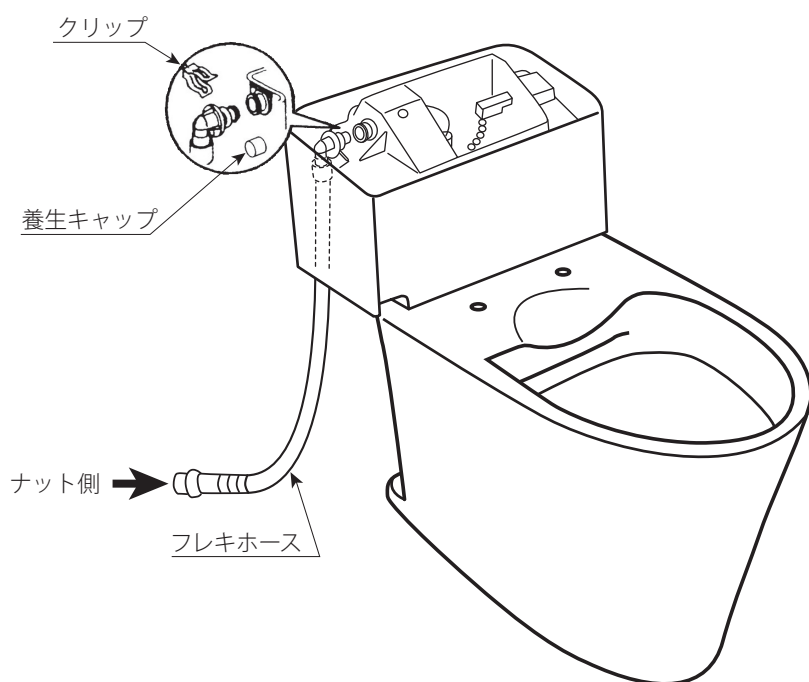
⑦ フレキホースと止水栓の接続

- (1) ロータンク内側底面の取出し穴の上方から、フレキホース（ナット側）を通します。
- (2) ボールタップ接続側の養生キャップを外し、ボールタップに差込みます。
- (3) 付属のクリップでフレキホースとボールタップを固定します。

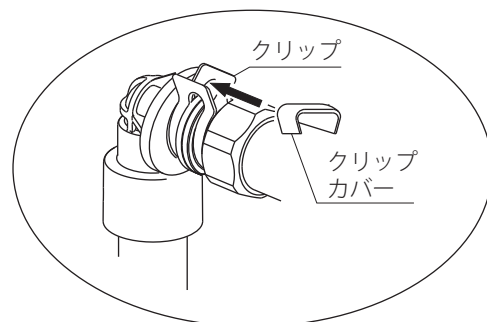
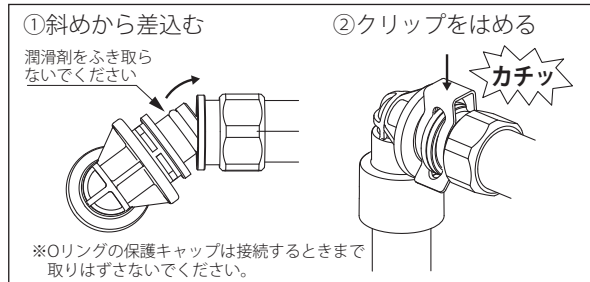
【ワンポイント】

クリップカバーの差込口が上方になるようにしておくと、クリップカバーが差込み易くなります。

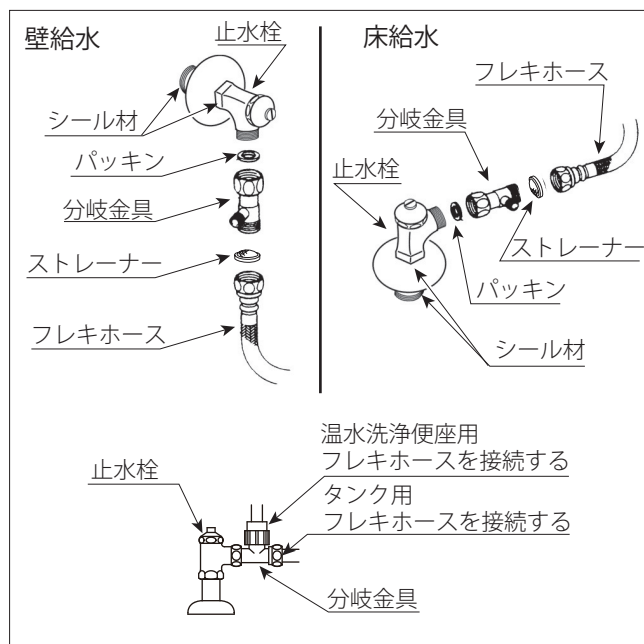
- (4) クリップにクリップカバーを差込みます。
- (5) 給水管取出し口に止水栓を取付けます。
- (6) パッキンを介して、止水栓に分岐金具を接続します。
- (7) ロータンクから取出したフレキホースをストレーナーを介して、止水栓または分岐金具に接続します。



フレキホース接続時の注意



温水洗浄便座の場合



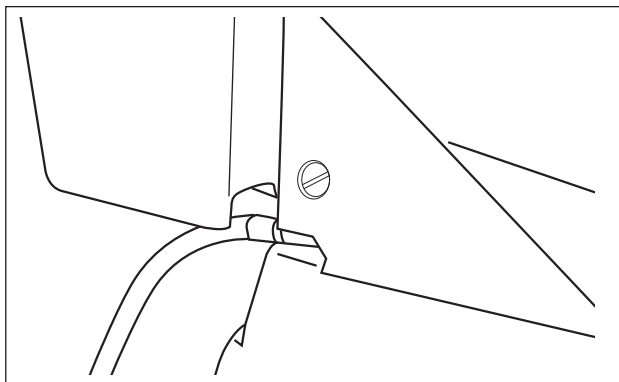
※パッキンと分岐金具は温水洗浄便座の同梱部品です。

お願い

- フレキホースをボールタップへ差込む時に、Oリングを傷めないようにしてください。
※傷めると漏水の原因になります。
- クリップ、クリップカバー、ストレーナーは紛失しないようにしてください。
- クリップが正しく付いたかを確認するため、クリップカバーは必ず取付けてください。
- 止水栓のネジ部には、シールテープ等を巻いて取付けてください。
- ストレーナーは必ず取付けてください。
※異物が入ると、作動不良や故障の原因になります。
- フレキホースのナットは締め過ぎないようにしてください。
※破損して漏水の原因になります。
- フレキホースはねじれを生じないように接続してください。
※給水不良・漏水の原因になります。

8 便座の取付け

- 便座の施工説明書に従って取付けしてください。
- 温水洗浄便座（JCS-95型 リモコン洗浄タイプ）を取付ける場合はロータンク前面の開口部奥へ便座用電源コード、アース線、給水ホース、洗浄ユニットコードを通して便器裏側へ収めてください。



注意

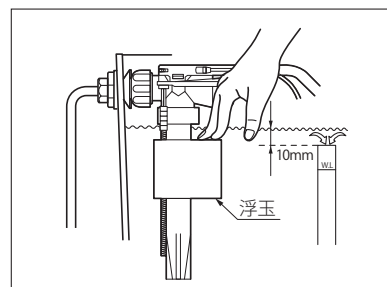
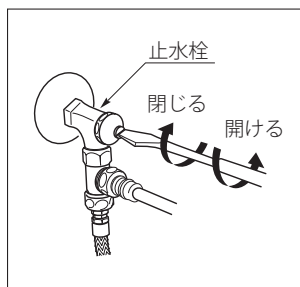
- 便座用電源コード、アース線、給水ホース、洗浄ユニットコードをはさまない様にしてください。

9 調整方法

- 器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、お客様の好みに合わせて水量を調整してください。

■給水量の調整

- 万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でも、タンクから水があふれないようにするために、次の要領で調整を行ってください。
 - (1) 止水栓を閉じ、タンクのふたを外します。
 - (2) 浮玉を押し下げながら、止水栓を徐々に開きます。
 - (3) この状態で、水面がオーバーフロー管の上端より10mm以上上昇しない程度に、止水栓の開きを調整します。



■水位の調整

- 給水量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されている「節水1～2」のラインに合うように、浮玉を上下させて調整してください。

※出荷時の水位は節水2に設定してあります。

【浮玉の移動方法】

調整ボルトを右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。

※内筒穴からプラスドライバーで調整してください。

※この便器では節水2より低い水位にしないでください。

節水3ではご使用になれません。

	節水1	
W.L	節水2	
—	節水3	—

●水量の目安

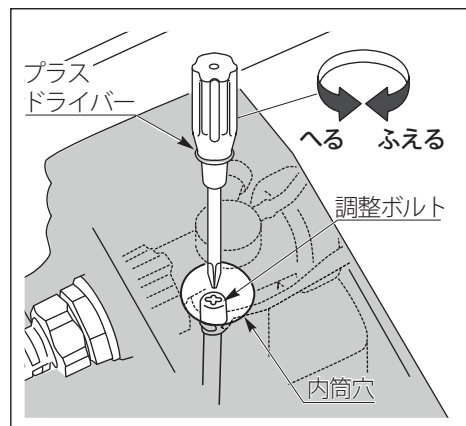
(水圧0.2MPaの時)

大洗浄 小洗浄

節水1 → 約8.0L 約7.0L

節水2 → 約6.0L 約5.0L

節水3 → ご使用になれません。

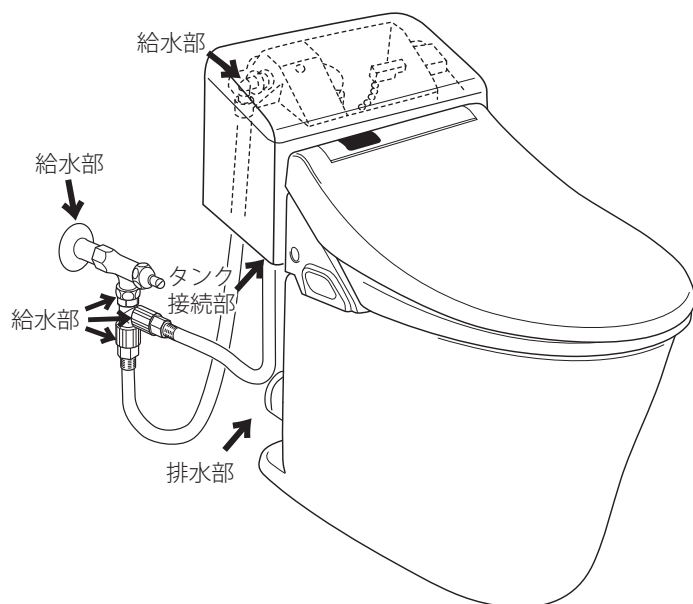


10 確認と点検

- 洗淨ハンドルを操作して数回洗淨し、各接続部に漏水が無いことを確認してください。
- フロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗淨ハンドルの戻り具合等、ロータンク金具に不具合が無いことを確認してください。
- 便器鉢内に長さ約760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れ、1回の洗淨ですべて排出することを確認してください。

11 ワンポイント

- 水の出が悪い場合ストレーナーを掃除してください。
(7 参照)



お願い

- 止水栓を動かした場合は、必ず給水量の調整をしてください。

ジャニス工業株式会社

本社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎ 〈0569〉 35-3151